

群馬県立県民健康科学大学

FD研修会 2017/9/14

横浜市立大学における 入学者選抜について

出光 直樹 (横浜市立大学)
idemitsu@yokohama-cu.ac.jp
http://www.idemitsu.info

プロフィール

- 札幌学院大学人文学部人間科学科卒業
- 桜美林大学大学院 国際学研究科 博士前期課程修了
・博士後期課程中退 (専門は高等教育論)
- 途中、米国のコミュニカレッジ、豪州の大学院に遊学。
趣味で放送大学を3回卒業。
- 1999年10月 桜美林大学職員 (大学教育研究所、アドミッションセンター)
- 2005年9月より横浜市立大学 アドミョンズセンター
→ アドミョンズ課 専門職・学務准教授
- 2014年4月からは桜美林大学大学院 大学アドミニストレーション
研究科で授業科目『大学アドミョンズ』も非常勤講師として担当。

1. 横浜市立大学の沿革と概要
2. 特別選抜における英語資格要件の整備
3. 「指定校推薦入試」について
4. 医学部医学科「一般選抜」の面接について
5. 医学部医学科「特別推薦入試」について

1. 横浜市立大学の沿革と概要

旧制学制期 (前史)

- 1871 (明治4) 年: 仮病院
- 1882 (明治15) 年: 横浜商法学校
→ 中等教育部分は、新製の市立横浜商業高校に
- 1928 (昭和3) 年: 横浜市立横浜商業専門学校 (旧制)
- 1944 (昭和19) 年: 横浜市立医学専門学校 (旧制)
- 1947 (昭和22) 年: 横浜医科大学 (旧制)

新制学制での発足

- 1949 (昭和24) 年: 横浜市立大学商学部
- 1952 (昭和27) 年: 医学部、文理学部
- 1995 (平成7) 年: 国際文化学部・理学部 (文理学部の改組)、
看護短期大学部

近年の動向

- 2005年度より法人化 (理事長・学長分離型)。
- 商学部・国際文化学部・理学部を改組し、国際総合科学部に統合。医学部には従前からの医学科とともに、看護短期大学部を改組した看護学科が加わる。
- 必修の全学英語科目「Practical English (PE)」を開講し、TOEFL-ITP500 (TOEIC600、英検準1級も可) を単位認定要件とし、この科目の修得が進級 (国際総合科学部) or 卒業要件 (医学部) 要件に。
 - 当初は20%程度が留年して問題化するも、その後は10%程度におちつく。
- 2018年度、データサイエンス学部を新設。
- 2019年度には、国際総合科学部の改組 (3学部に分離) を予定

- 3年次進級問題と
Practical English Center の設置

- 2007年度に設置。
教授たるセンター長の他、
12名の常勤インストラクター、
10名の非常勤を配置。



横浜市中区
2018年11月9日
横浜市中区立
高等学校
2018年度
入学者選抜
試験
結果
発表
会
の
開
催
に
あ
ら
わ
る
ご
ち
う
さ
い
と
し
て
ご
報
道
を
承
知
し
ま
す
。

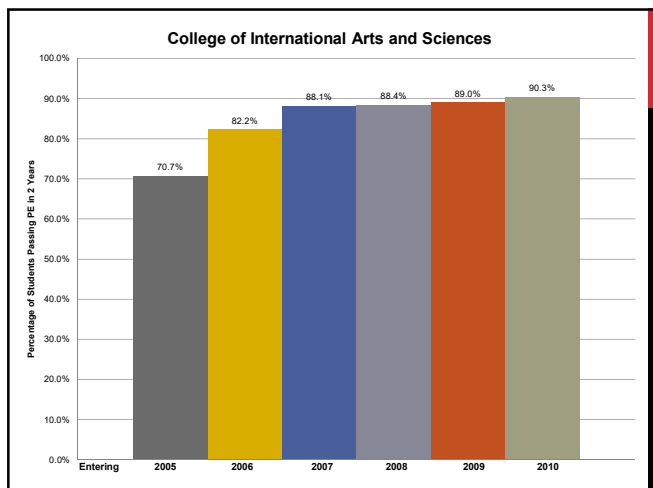
横浜市中区立高等学校
2018年度入学者選抜試験
結果発表会の開催に
あらわるとしてご
報道を承知しま
す。

2年生過半数
留年の危機に
TOEFL 500点
届かず

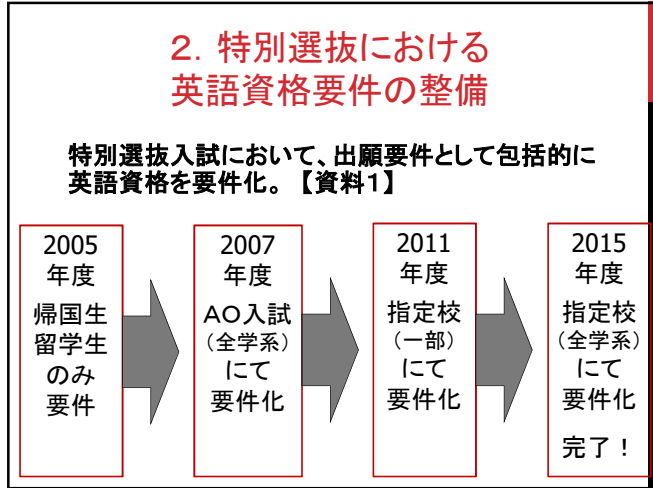
横浜市中区立高等学校
2018年度入学者選抜試験
結果発表会の開催に
あらわるとしてご
報道を承知しま
す。

横浜市中区立高等学校
2018年度入学者選抜試験
結果発表会の開催に
あらわるとしてご
報道を承知しま
す。

(東京新聞: 夕刊 (平成 18 年 11 月 9 日) より転載)



- 事務系の固有職員は、法人化前後に数名の専門職を採用。固有の一般職員は2006年より定期採用を開始。法人化後数年は固有の管理職採用も。
- 「入試課」から「アドミッションズセンター」へ
 - 2005年度当初の課長1、係長1、職員4は全員市派遣職員。年度途中にプロパーの専門職1(本日の報告者)と職員1が加わる。
 - 現在、課長1、係長2、専門職1、職員4(全員プロパー) + 派遣スタッフ1
 - 2011年度より事務機構上の名称はアドミッション課に。
 - アドミッションズセンター長は当初は不在。追って事務系の部長の兼務の後、2008年1月～2009年3月は副学長が兼任。2009年4月以降は学部教員が就任。



- ### 導入のプロセス;
- ・ 最初は級・スコアの定め無しで導入し、英語資格と合否の傾向や入学後の成績を見ながら徐々に引き上げ。志願者減少の懸念等に対しては、データにより説得し、“提出がのぞましい”との妥協案も。
 - ・ 当初はTOEFL、TOEIC、英検の3種のみであったが、高校現場の普及に着目して、G-TEC for STUDENTSを追加。また単位認定要件資格への追加に対応して、2015年度よりIELTSも入試での対象資格に追加。

- ### 英語資格要件導入の背景
- ・ 学部改組1期生の指定校推薦やAO入学者に、PE不振者が目立った。
 - ・ 5倍を超えるようなAO入試の志願者数の適正化と学力把握。
 - ・ 推薦指定校の学校間格差。高校での成績がトップクラスでも、一部に英語力不足の者の存在が露呈。
 - ・ PE(TOEFL-ITP500)のカリキュラムポリシーが明確であることが、アドミッションポリシーに反映。
 - ・ 志願者レベルの底上げ。
 - ・ 指定校推薦では、高校間の実力差の補正機能も
 - ・ 日本の高校出身者の場合、英検2級レベルに到達している者は基本的な学習力が身につけている傾向。
 - ・ 英語資格水準の高い海外帰国生入試では、2技能のTOEIC受験者よりも、4技能のTOEFL-iBTやIELTS受験者の方が、入試のパフォーマンスが良い傾向。

- ### 3. 「指定校推薦入試」について
- #### 高校と大学の信頼関係に基づく 高大接続の1つのカタチ 【資料2】
- ・ 2005年の法人化・学部改組にともない国際総合科学部に新規導入。
 - ・ 当初の推薦指定校は、旧学部の公募推薦入試(センター試験を課さない・横浜市民のみ応募可)の入学実績に応じて配分。
 - ・ 2008年度以降、指定校推薦入試以外での入学実績や、入学後の成績追跡調査などをふまえた見直しを開始。
 - ・ 入学後の成績が良いこともあり、2009年度以降は横浜市民の条件を撤廃。
 - ・ 推薦指定校は、近隣校が多いものの、北は北海道から、南は沖縄まで、地方の高校も指定している。
 - ・ 2010年度より、医学部看護学科でも導入。
 - ・ 2018年度新設のデータサイエンス学部でも実施。

- 求める評定値(指定値)は、殆どの指定校は4.0。一部の有力校に対して3.8に下げたもののあまり効果無し。
- 選考は、高校からの推薦・出願 → 面接 → 合格 → 入学を前提として運用。
- 国際総合科学部では、グループ面接。医学部看護学科は個人面接で実施。
 - 国際総合科学部では、過去に1~2回ほど、面接時の態度にやや問題があり、学校に照会したケースがあるが、不合格になったケースはない。
 - 医学部看護学科では、実施3年目頃より、面接評価者より不合格にしたいという意見が出たため、2015年度の募集要項より記載内容に不合格があり得ることを盛り込み、結果35名中の1名が不合格に。
 - 不合格者の高校へは、学科長とアドミッション課の課長が訪問し、事情を説明する。

4. 医学部医学科「一般選抜」の面接について 再面接の導入による丁寧な判断 【資料3】

一般選抜における面接の位置づけ

- 従前より一般選抜(2次試験)では、英語・数学・理科・小論文の筆記試験に加えて、面接を実施してきた。
- 面接は段階評価で行い、一定水準以下の場合は、センター+筆記試験の順位にかかわらず合格しない、との位置づけ。
- 集団面接+個人面接という時期もあったが、募集人員増もあり、個人面接のみで実施。
- 1面接室の評価者は3名(原則として教授2・准教授1)
- ハイリスクな志願者を特定の面接室に集め、その面接室には精神科教員を配置するなどの工夫をしたものの、1人の受験者あたり、実質8分程度の時間の中で、場合によっては不合格の判断を行わなければならない。

再面接の導入

- 2014年度より「再面接」の仕組みを導入。
 - 先行実施していた東北大学に電話で問い合わせをして参考に。
- 当初の面接終了後、受験者には一旦廊下で待ってもらい、評価者が直ぐに再面接の要・不要を判断して、本人に書面で通知。少しでも懸念があれば要と判断。
- 退出経路の廊下に控えている職員が面接を終えた受験者をチェックし、再面接対象者がいた場合は、専用の控室に誘導し待機させ、本部に連絡。
 - 再面接の準備が整うと、専用控室から対象者を誘導し、再面接を実施。余裕があれば長めに20分程度行うこともある。
- 全ての面接が終了後、各面接室のリーダーと再面接評価担当者、本部長、小論文(同じ段階評価)の採点責任者が集まって、評価調整会議を実施。

5. 医学部医学科「特別推薦入試」について 面接と学力把握のバランス 【資料4】

- 2005年の法人化以降、後期日程を廃止し、60名(当時)の入学定員全てを、一般選抜の前期日程で募集。
- 地域枠等の導入で募集人員が90名まで増える中、入学者の学力・モラルの低下や地域枠の不人気課題に。
- 面接を重視した推薦入試を見当する中で、カナダや英国の医科大学が実施しているMMI Multiple Mini Interviewに注目。
- 英語資格、面接、センター試験の3要素の組み合わせを検討

	出願時の 英語資格	11~12月の 面接	1月中旬の センター試験	2月上旬の 面接
1案	高水準で求める	○	×	×
2案	求める	○	○	×
3案	求めない	×	○	○
4案	求めない	×	○	×

- 2015年度より、横浜市立高等学校全校(9校)+その他神奈川県内で本学医学部医学科に合格実績(平成21年度入試以降)のある高等学校(36校)、計45校の現役生を対象に導入。
- 25名の地域医療枠のうち5名を振り分けて、地域医療枠としての5名の募集人員を設定。
- 面接とセンター試験の配点を同等にし、実質的には面接での得点差が大きく左右するが、一方でセンター試験の最低水準(一般選抜の第1段階選抜合格者の平均点≒85%)も設定。
- 5つの面接室のうち、最初の2つは提出書類(志願理由書)による質疑応答というオーソドックスなスタイル。後半の3つはMMIらしい状況課題によるスタイルで実施。
- 面接の評価者には、他職種連携の考え方も反映し、医学科(病院)教員のみならず、看護学科教員や入試・学務の職員も加わる。

- 各面接室では複数の評価項目を設定し、全ての評価項目は5段階で採点し、係数をかけ合わせて集計。
- 概ねオール3=600点を2次面接の目安とするも、今のところ問題のある受験生は無し。
- 面接の評価とその後のセンター試験の評価の相関は高く、全受験者の半数ほどは、一般選抜第1段階選抜の平均点を超え、ほぼ全員が80%の得点率を超える。
 - 特別推薦入試での不合格者の中からも、3名程度は一般選抜で合格。
 - 2017年度に惜しくも6位不合格だった受験者は...
- 一般選抜における「地域医療枠」は、ほとんどが第2志望・第3志望の位置づけであるにもかかわらず、特別推薦入試では、「地域医療枠」としての募集にもかかわらず、優秀な受験者が前向きに応募してくる。

特別選抜における英語資格に関する出願要件の変遷

資料1

平成29年5月現在

平成17（2005）年度入試

- 国際総合科学部の発足

	国際教養学系	経営科学系	理学系
指定校	提出不要		
AO	提出不要		
帰国生	TOEFL-PBT423、TOEIC425		
留学生	TOEFL-PBT423、TOEIC425		

平成19（2007）年度入試

- AO入試において、英語資格の提出を義務化
- 指定校において、TOEFL460（CBT140）、TOEIC500、または英検2級を有し、公式な証明書を提出できる者は、被推薦資格の評定平均値“4.0以上”を“3.5以上”と読みかえることが出来る旨の特例を設定。

	国際教養学系	経営科学系	理学系
指定校	提出不要		
AO	要提出（級不問）		
帰国生	TOEFL-PBT423、TOEIC425		
留学生	TOEFL-PBT423、TOEIC425		

平成21（2009）年度入試

- 帰国生・留学生の水準を引き上げ。

	国際教養学系	経営科学系	理学系
指定校	提出不要		
AO	要提出（級不問）		
帰国生	TOEFL-PBT460（iBT48）、TOEIC500		
留学生	TOEFL-PBT443（iBT43）、TOEIC460		

平成22（2010）年度入試

- AO（国際教養学系・経営科学系）で水準を設定。
- 医学部看護学科で指定校の導入

	国際教養学系	経営科学系	理学系	看護学科
指定校	提出不要			提出不要
AO	【C】		要提出（級不問）	
帰国生	TOEFL-PBT460（iBT48）、TOEIC500			
留学生	TOEFL-PBT443（iBT43）、TOEIC460			

【C】 TOEFL-PBT417（iBT35）、TOEIC400、英検準2級

平成23（2011）年度入試

- 指定校（国際教養学系）、AO（国際教養学系、理学系）、帰国生（国際教養学系、経営科学系）の水準を引き上げ。
- 帰国生（理学系）で英検も対象に含める（水準は同一）。

	国際教養学系	経営科学系	理学系	看護学科
指定校	<u>要提出（級不問）</u>	提出不要		提出不要
AO	<u>TOEFL460相当</u>	TOEFL417相当	<u>TOEFL417相当</u>	
帰国生	<u>TOEFL500相当</u>		<u>TOEFL460相当</u>	
留学生	TOEFL-PBT443（iBT43）、TOEIC460			

【A】 TOEFL-PBT500（iBT61）、TOEIC600、英検準1級

【B】 TOEFL-PBT460（iBT48）、TOEIC500、英検2級

【C】 TOEFL-PBT417（iBT35）、TOEIC400、英検準2級

平成24（2012）年度入試

- 指定校（国際教養学系・経営科学系）、AO（経営科学系）、留学生の水準を引き上げ。
- 社会人選抜の新設。
- GTEC for STUDENTS を対応資格に追加。

	国際教養学系	経営科学系	理学系	看護学科
指定校	<u>【C】</u>	<u>要提出（級不問）</u>	提出不要	提出不要
AO	<u>【B】</u>	<u>【B】</u>	<u>【C】</u>	
帰国生	<u>【A】</u>		<u>【B】</u>	
留学生	<u>【B】</u>			
社会人	<u>【A】（但し GTEC-St を除く）</u>			

【A】 TOEFL-PBT500（iBT61）、TOEIC600、GTEC-St700、英検準1級

【B】 TOEFL-PBT460（iBT48）、TOEIC500、GTEC-St600、英検2級

【C】 TOEFL-PBT417（iBT35）、TOEIC400、GTEC-St500、英検準2級

平成25（2013）年度入試

- 国際都市学系の新設。
- 指定校（理学系）について、必須ではないが提出が望ましいとする。
- 指定校（看護学科）について、要提出（級不問）
- 留学生（国際教養学系・国際都市学系）、の水準を引き上げ。

	国際教養学系 国際都市学系	経営科学系	理学系	看護学科
指定校	<u>【C】</u>	要提出（級不問）	<u>望ましい</u>	<u>要提出（級不問）</u>
AO	<u>【B】</u>		<u>【C】</u>	
帰国生	<u>【A】</u>		<u>【B】</u>	
留学生	<u>【A】</u>	<u>【B】</u>		
社会人	<u>【A】（但し GTEC-St を除く）</u>			

【A】 TOEFL-PBT500（iBT61）、TOEIC600、GTEC-St700、英検準1級

【B】 TOEFL-PBT460（iBT48）、TOEIC500、GTEC-St600、英検2級

【C】 TOEFL-PBT417（iBT35）、TOEIC400、GTEC-St500、英検準2級

平成26（2014）年度入試

- 指定校（看護学科）の水準を引き上げ
- 国際バカロレア（IB）入試の新設

	国際教養学系 国際都市学系	経営科学系	理学系	看護学科
指定校	【C】	要提出（級不問）	望ましい	【C】
AO	【B】		【C】	
帰国生・IB	【A】		【B】	
留学生	【A】	【B】		
社会人	【A】（但し GTEC-St を除く）			

【A】 TOEFL-PBT500 (iBT61)、TOEIC600、GTEC-St700、英検準1級

【B】 TOEFL-PBT460 (iBT48)、TOEIC500、GTEC-St600、英検2級

【C】 TOEFL-PBT417 (iBT35)、TOEIC400、GTEC-St500、英検準2級

平成27（2015）年度入試

- 対象資格に IELTS を追加
- 指定校（国際教養系・国際都市系・経営科学系・理学系）の水準を引き上げ
- AO入試（理学系）の水準を引き上げ
- 科学オリンピック入試の新設

	国際教養学系 国際都市学系	経営科学系	理学系	看護学科
指定校	【B】	【C】		【C】
AO	【B】		【B】	
帰国生・IB	【A】		【B】	
科学オリンピック			【C】	
留学生	【A】	【B】		
社会人	【A】（但し GTEC-St を除く）			

【A】 TOEFL-PBT500 (iBT61)、TOEIC600、GTEC-St700、英検準1級

IELTS5.0 (アカデミック・モジュール各パート4.5以上)

【B】 TOEFL-PBT460 (iBT48)、TOEIC500、GTEC-St600、英検2級

IELTS4.5 (アカデミック・モジュール各パート4.0以上)

【C】 TOEFL-PBT417 (iBT35)、TOEIC400、GTEC-St500、英検準2級

IELTS4.0 (アカデミック・モジュール各パート3.5以上)

平成28（2016）年度入試

- 特別推薦（医学科）の新設。
- A O入試（経営科学系）において、数学科目履修の有無により水準に差を設ける。
- 科学オリンピック入試において、コンテストの成績により水準に差を設ける。

	国際教養学系 国際都市学系	経営科学系	理学系	(医学科) (看護学科)
指定校	【B】	【C】		看【C】
特別推薦				医【B】
A O	【B】	【B】 or 【A】 ※1	【B】	
帰国生・I B	【A】		【B】	
科学オリンピック			【C】 or 【B】 ※2	
留学生	【A】	【B】		
社会人	【A】（但しGTEC-Stを除く）			

※1 日本の高校で「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」4科目、または「数学Ⅰ」「数学A」「簿記」「財務会計Ⅰ」4科目を修得(見込)の現役・1浪生は【B】、それ以外の者は【A】

※2 「全国物理コンテスト 第1チャレンジ」「化学グランプリ 一次選考」または「日本生物学オリンピック 予選」のいずれかを通過した者は【C】、平均点（物理の課題実験はBC評価）以上の成績を修めた者は【B】

【A】 TOEFL-PBT500 (iBT61)、TOEIC600、GTEC-St700、英検準1級
IELTS5.0 (アカデミック・モジュール各パート4.5以上)

【B】 TOEFL-PBT460 (iBT48)、TOEIC500、GTEC-St600、英検2級
IELTS4.5 (アカデミック・モジュール各パート4.0以上)

【C】 TOEFL-PBT417 (iBT35)、TOEIC400、GTEC-St500、英検準2級
IELTS4.0 (アカデミック・モジュール各パート3.5以上)

平成29（2017）年度入試

- 科学オリンピック入試の水準を引き上げ一本化。経営科学系でも導入。

	国際教養学系 国際都市学系	経営科学系	理学系	(医学科) (看護学科)
指定校	【B】	【C】		看【C】
特別推薦				医【B】
A O	【B】	【B】 or 【A】 ※	【B】	
帰国生・I B	【A】		【B】	
科学オリンピック		【B】		
留学生	【A】	【B】		
社会人	【A】（但しGTEC-Stを除く）			

※ 日本の高校で「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」4科目、または「数学Ⅰ」「数学A」「簿記」「財務会計Ⅰ」4科目を修得(見込)の現役・1浪生は【B】、それ以外の者は【A】

【A】 TOEFL-PBT500 (iBT61)、TOEIC600、GTEC-St700、英検準1級
IELTS5.0 (アカデミック・モジュール各パート4.5以上)

【B】 TOEFL-PBT460 (iBT48)、TOEIC500、GTEC-St600、英検2級
IELTS4.5 (アカデミック・モジュール各パート4.0以上)

【C】 TOEFL-PBT417 (iBT35)、TOEIC400、GTEC-St500、英検準2級
IELTS4.0 (アカデミック・モジュール各パート3.5以上)

平成30（2018）年度入試

- データサイエンス学部の新設
- 指定校（理学系）の水準を引き上げ。

	国際教養学系 国際都市学系	経営科学系	理学系	データサイエンス学科	(医学科) (看護学科)
指定校	【B】	【C】	【B】	【B】	看【C】
特別推薦					医【B】
AO	【B】	【B】 or 【A】※	【B】		
帰国生・IB	【A】		【B】	【A】	
科学オリンピック		【B】			
留学生	【A】	【B】			
社会人	【A】（但し GTEC-St を除く）				

※1 日本の高校で「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」4科目、または「数学Ⅰ」「数学A」「簿記」「財務会計Ⅰ」4科目を修得(見込)の現役・1浪生は【B】、それ以外の者は【A】

【A】 TOEFL-PBT500 (iBT61)、TOEIC600、GTEC-St700、英検準1級
IELTS5.0 (アカデミック・モジュール各パート4.5以上)

【B】 TOEFL-PBT460 (iBT48)、TOEIC500、GTEC-St600、英検2級
IELTS4.5 (アカデミック・モジュール各パート4.0以上)

【C】 TOEFL-PBT417 (iBT35)、TOEIC400、GTEC-St500、英検準2級
IELTS4.0 (アカデミック・モジュール各パート3.5以上)

資料2

ア 第 1 2 号
平成 29 年 6 月 30 日

《高等学校名》
学校長 殿 (《高校 CD》)

横浜市立大学
学長 窪田 吉信 [公印]

平成 3 0 年度 横浜市立大学 指定校推薦入試 志願者の推薦について (依頼)

横浜市立大学では、自らの課題を見つけ探求する積極的な姿勢と豊かな教養に支えられた高い専門的能力を有するとともに、豊かな人間性と倫理観を備えた人材を育成することを目的としています。

本学の指定校推薦入試では、①競争試験とならないこと、②選考は書類審査と面接とし、学力試験を課さないこと、③各高校の推薦人数枠は入学実績によること、としております。

つきましては、貴校において本学への入学を特に希望し、かつ、別記の推薦基準に該当する者を、次によりご推薦ください。

1. 推薦入試の学部、学系・学科別募集人員 貴校の推薦人員・成績に関する指定値

学部	学系・学科	募集人員	貴校の推薦人員	指定値	備 考
国際総合科学部	国際教養学系	30	《教》	《指 定 値 》	《特記事項》
	国際都市学系	25	《都》		
	経営科学系	50	《経》		
	理学系	40	《理》		
データサイエンス学部	データサイエンス学科	10	《DS》		
医学部	看護学科	30	《看》		
合計		185	《計》		

※国際総合科学部の募集人員については、各学系の推薦入学者の入学後の成績および過去の入学実績をもとに決定しています。つきましては、推薦入学者の2年次進級時におけるコース選択は、入学学系内の各コースからしていただくことが肝要となります。

【参考】 高等学校からの推薦に基づく本学の入試には、この指定校推薦入試の他に、公募推薦入試および特別推薦入試があります。

公募推薦入試は国際総合科学部の4学系で募集し、書類審査およびセンター試験5教科の成績により選抜します。理学系で所定の科目の修得条件がある他は、評定値等の制限はありませんので広く応募が可能です。

特別推薦入試は医学部医学科で募集し、書類審査・面接・センター試験5教科の成績により選抜します。応募可能な高校は、横浜市立高校、および神奈川県内のその他の高校で医学科への合格実績のある高校となります。詳細は『入学者選抜要項』をご参照ください。

2. 被推薦資格

高等学校（全日制の課程に限り、中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）を平成30年3月に卒業見込の者で、次に掲げる基準を満たす者。（今年度変更点下線）

<p>国際総合科学部 国際教養学系 国際都市学系</p>	<p>次の(1)、(2)いずれにも該当する者</p> <p>(1) 高等学校在学中の学業成績が、次のア・イいずれかに該当する者 ア. 全体の評定平均値が 指定値以上 の者 イ. 「国語、数学、外国語（英語）」、「国語、地歴、外国語（英語）」または「国語、公民、外国語（英語）」の評定平均値の平均*が 指定値以上 の者</p> <p>(2) TOEFL-PBT 460 (iBT 48) 以上、TOEIC 500以上、GTEC for STUDENTS 600以上、英検2級以上、またはIELTS 4.5 (アカデミック・モジュール各パート 4.0) 以上のいずれかのスコア・級を有し、公式な証明書を提出できる者</p>	
<p>国際総合科学部 経営科学系</p>	<p>次の(1)、(2)、(3)いずれにも該当する者</p> <p>(1) 高等学校在学中の学業成績が、次のア・イいずれかに該当する者 ア. 全体の評定平均値が 指定値以上 の者 イ. 「国語、数学、外国語（英語）」、「国語、地歴、外国語（英語）」または「国語、公民、外国語（英語）」の評定平均値の平均*が 指定値以上 の者</p> <p>(2) 「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」の4科目、または「数学Ⅰ」「数学A」「簿記」「財務会計Ⅰ」の4科目を、修得または修得見込みの者 ※ 上記に指定する科目と同様の内容を、他の名称の科目で履修している場合は、その旨の学校長名の証明を調査書に添付すること。</p> <p>(3) TOEFL-PBT 417 (iBT 35) 以上、TOEIC 400以上、GTEC for STUDENTS 500以上、英検準2級以上、またはIELTS 4.0 (アカデミック・モジュール各パート 3.5) 以上のいずれかのスコア・級を有し、公式な証明書を提出できる者</p>	
<p>国際総合科学部 理学系</p>	<p>次の(1)、(2)、(3)いずれにも該当する者</p> <p>(1) 高等学校在学中の学業成績が、次のア・イいずれかに該当する者 ア. 全体の評定平均値が 指定値以上 の者 イ. 「数学、理科、外国語（英語）」の評定平均値の平均*が指定値以上 の者 ※ 数学Ⅲの評定が 4.0 以上の者は、上記ア・イの“指定値以上”を“3.5 以上”と読みかえることができる。</p> <p>(2) 「物理基礎+物理」、「化学基礎+化学」、「生物基礎+生物」のうち、いずれか2つの科目群を修得または修得見込みの者 ※ 上記に指定する科目と同様の内容を、他の名称の科目で履修している場合は、その旨の学校長名の証明を調査書に添付すること。</p> <p>(3) <u>TOEFL-PBT 460 (iBT 48) 以上、TOEIC 500以上、GTEC for STUDENTS 600以上、英検2級以上、またはIELTS 4.5 (アカデミック・モジュール各パート 4.0) 以上の</u>いずれかのスコア・級を有し、公式な証明書を提出できる者</p>	
	<p>チャレンジプログラム枠</p>	<p>横浜サイエンスフロンティア高等学校と横浜市立大学が実施する「チャレンジプログラム」に合格した者</p>

<p>データサイエンス学部 データサイエンス学科</p>	<p>次の(1)、(2)いずれにも該当する者</p> <p>(1) 高等学校在学中の学業成績が、次のア・イいずれかに該当する者 <u>ア. 全体の評定平均値が 指定値以上 の者</u> <u>イ. 「国語、地歴、数学、外国語（英語）」、「国語、公民、数学、外国語（英語）」</u> <u>または「国語、数学、理科、外国語（英語）」の評定平均値の平均*が</u> <u>指定値以上 の者</u></p> <p>※ 数学Ⅲの評定が 4.0 以上の者は、上記ア・イの“指定値以上”を “3.5 以上”と読みかえることができる。</p> <p>(2) <u>TOEFL-PBT 460 (iBT 48) 以上、TOEIC 500以上、GTEC for STUDENTS 600以上、</u> <u>英検 2 級以上、または IELTS 4.5 (アカデミック・モジュール各パート 4.0) 以上の</u> <u>いずれかのスコア・級を有し、公式な証明書を提出できる者</u></p>
<p>医 学 部 看 護 学 科</p>	<p>次の(1)、(2)、(3)、(4)いずれにも該当する者</p> <p>(1) 高等学校在学中の学業成績が、次のア・イいずれかに該当する者 ア. 全体の評定平均値が 指定値以上 の者 イ. 「国語、数学、理科、外国語（英語）」の評定平均値の平均*が 指定値以上 の者</p> <p>(2) 「生物基礎＋生物」の 2 科目（必須）に加え、「物理基礎＋物理」または「化学基礎＋化学」のいずれか 2 科目、合計 4 科目を修得または修得見込みの者 ※ 上記に指定する科目と同様の内容を、他の名称の科目で履修している場合は、その旨の学校長名の証明を調査書に添付すること。</p> <p>(3) TOEFL-PBT 417 (iBT 35) 以上、TOEIC 400以上、GTEC for STUDENTS 500以上、英検準 2 級以上、または IELTS 4.0 (アカデミック・モジュール各パート 3.5) 以上のいずれかのスコア・級を有し、公式な証明書を提出できる者</p> <p>(4) 看護学を志し、生命を尊ぶ姿勢や倫理観を有し、地域社会の人々の健康と福祉に貢献しようとする意志のある者 ※ 卒業後は横浜市内を中心とした地域医療へ積極的に貢献できる者。 (注) 面接では上記(4)の資格を有するかを判断するための質問をします。 これをもとに合否を決定します。</p>
<p>【英語資格を有する者の特例：国際教養学系・国際都市学系・理学系・データサイエンス学科】 TOEFL-PBT 500 (iBT 61) 以上、TOEIC 600以上、GTEC for STUDENTS 700以上、英検準 1 級以上、または IELTS 5.0 (アカデミック・モジュール各パート 4.5) 以上の資格を有し、公式な証明書を提出できる者は、前記(1)ア・イの“指定値以上”を“3.5 以上”と読みかえることができる。</p> <p>【英語資格を有する者の特例：経営科学系・看護学科】 TOEFL-PBT 460 (iBT 48) 以上、TOEIC 500以上、GTEC for STUDENTS 600以上、英検 2 級以上、または IELTS 4.5 (アカデミック・モジュール各パート 4.0) 以上の資格を有し、公式な証明書を提出できる者は、前記(1)ア・イの“指定値以上”を“3.5 以上”と読みかえることができる。</p>	
<p>■ *前記(1)のイに関わる評定平均値の平均の算出について； 対象となる各教科の評定平均値を単純平均し、小数点以下第 2 位で四捨五入した値。 普通教科としての外国語に関わる科目と専門教科としての英語に関わる科目を両方履修している場合は、それぞれの教科毎に評定平均値を算出し、他の対象教科と合わせて単純平均します。</p> <p>■ {TOEFL-ITP、TOEIC-IP について} 志願者の在籍する高等学校が実施団体の場合のみ認められます。</p> <p>■ {GTEC for STUDENTS について} 志願者の在籍する高等学校が実施団体であれば検定日を問いません。</p>	

3. 選抜日程	出願期間	平成29年11月1日（水）～6日（月） 必着
	面接日	11月18日（土） （データサイエンス学部・医学部看護学科は午前、国際総合科学部は午後）
	合格発表日	11月28日（火）
	入学手続日	12月25日（月）

その他提出書類等の詳細は、9月上旬にお送りする募集要項にてお知らせいたします。

お問合せ先
横浜市立大学 アドミッションズセンター
045-787-2055

平成31年度 横浜市立大学 指定校推薦入試における 被推薦資格の変更点について（予告）

国際総合科学部経営科学系につきましては、平成31年度より被推薦資格の英語資格に関する要件を、以下のように変更しますので、当該学年生徒への周知並びにご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

【被推薦資格・英語資格特例の変更点】

国際総合科学部 経営科学系	<p>次の(1)、(2)、(3)いずれにも該当する者</p> <p>(1) <学業成績要件：変更無し></p> <p>(2) <修得科目要件：変更無し></p> <p>(3) <u>TOEFL-PBT 460 (iBT 48) 以上、TOEIC 500以上、GTEC for STUDENTS 600以上、英検2級以上、またはIELTS 4.5 (アカデミック・モジュール各パート 4.0) 以上のいずれかのスコア・級を有し、公式な証明書を提出できる者</u></p>
<p>【英語資格を有する者の特例： 国際教養学系・国際都市学系・<u>経営科学系</u>・理学系・データサイエンス学科】</p> <p>TOEFL-PBT 500 (iBT 61) 以上、TOEIC 600以上、GTEC for STUDENTS 700以上、英検準1級以上、またはIELTS 5.0 (アカデミック・モジュール各パート 4.5) 以上の資格を有し、公式な証明書を提出できる者は、前記(1)ア・イの“指定値以上”を“3.5 以上”と読みかえることができる。</p>	

◇ 平成29年度 医学科一般選抜 募集要項抜粋 ◇

資料3

1 募集枠および募集人員

医学部医学科には、下枠内(1)～(3)の3種類の募集枠があります。(2)と(3)は顕在化してきた医師不足に対し、地域医療機関における医師確保の安定化に寄与するため、県内で医学部を有する唯一の公立大学である本学に設置されています。(2)の**地域医療枠**は、神奈川県内の地域医療に従事する医師を、また(3)の**神奈川県指定診療科枠**は、神奈川県内で特に不足している4診療科(産科・小児科・麻酔科・外科)に従事する医師をそれぞれ養成します。いずれの募集枠も、出願者の出身地および出身高等学校所在地による制限はありません。また、入学後6年間の医学科教育カリキュラムも同一です。詳細は以下に記載の説明を参照してください。出願時には、入学願書の3つの募集枠に1～3の志望順位を記載してください。ただし、1つまたは2つの募集枠だけに申し込むこともできます(合否判定の詳細は7頁の「最終合否判定」記載内容を参照してください)。(2)(3)の募集枠については、本要項巻末綴じ込みの本人による「誓約書」および出身高等学校からの「推薦書」の提出が必要となります。

募 集 枠	募 集 人 員	
(1) 一般枠	60名	85名
(2) 地域医療枠	20名	
(3) 神奈川県指定診療科枠	5名	

(1) **一般枠** (募集人員60名)

従来の前期日程として募集してきた枠で、入学後6年間の医学科教育カリキュラムを履修します。

▼卒業後研修プログラムのモデルケース (一般枠)

6年間	2年間	3年間
医学科 教育	初期研修 ※修了半年ほど前に 専門医研修の研修先 病院を決定	専門医研修

(2) **地域医療枠** (募集人員20名)

入学後、6年間の医学科教育カリキュラム(一般枠・神奈川県指定診療科枠と共通)を履修し、卒業後は2年間の初期研修を受けます。その後、7年間、神奈川県内の医療機関において診療活動を行います。

この枠の志願者には、出願時に本要項巻末綴じ込みの地域医療枠用「誓約書」および出身高等学校からの「推薦書」を提出していただきます。

▼卒業後研修プログラムの流れ (地域医療枠)

6年間	2年間	7年間
医学科 教育	初期研修 ※修了半年ほど前に 勤務する病院を決定	7年間、本学附属病院をはじめ、 神奈川県内の医療機関において診療活動

(3) **神奈川県指定診療科枠** (募集人員5名)

将来、産科(産科の診療を行う産婦人科を含む)、小児科、麻酔科および外科※のうち、神奈川県が学部5年次終了時に指定する診療科の医療に、初期研修終了後従事することを目的とした募集枠です。従事する診療科は、5年次終了時に県内医療の状況、学生本人の特性(希望、能力、適性)、大学の意見を総合的に勘案して、産科、小児科、麻酔科、外科の中から知事が指定します。

なお、この枠では学部1年次～6年次の6年間、神奈川県から本学の学費および生活費相当額の修学資金の貸付を受けることが条件となります。借り受けた修学資金については、本学を卒業し、初期研修終了後に9年間(本学在学期間である6年間の1.5倍の期間)を神奈川県内における医療機関において、知事が指定した診療科の医療に従事することで返還の義務は免除されます。

入学後、6年間の医学科教育カリキュラム(一般枠・地域医療枠と共通)を履修し、卒業後は2年間の初期研修を受けます。その後、9年間、神奈川県内の医療機関において診療活動を行います。

なお、初期研修終了時に勤務する病院は、神奈川県医療対策協議会において協議の上、県内医療機関の中から知事が指定します。

この指定する病院は、医師が不足している地域における中核的、かつ、勤務体制の整っている病院を想定しており、指定診療科の指導の下で勤務していただきます(県立病院に限るものではありません)。また、指定後は9年間同一の指定病院に勤務するとは限らず、県内医療の状況を見ながら、いくつかの病院に勤務していただく場合もあります。

この枠の志願者には、出願時に本要項巻末綴じ込みの神奈川県指定診療科枠用「誓約書」および出身高等学校からの「推薦書」を提出していただきます。

※外科については、整形外科や形成外科のように除かれる場合がありますので外科を希望する場合は注意してください。

▼卒業後研修プログラムの流れ(神奈川県指定診療科枠)

6年間	2年間	9年間
医学科教育 ※神奈川県より修学資金を貸与 ※5年次終了時に診療科を指定	初期研修 ※修了半年ほど前に勤務する病院を決定	9年間、本学附属病院をはじめ、神奈川県内の医療機関において指定した診療科で診療に携わった場合、修学資金の返還義務は免除 ※産科、小児科、麻酔科、外科より学部5年次終了時に診療科を指定

《神奈川県指定診療科枠に関する補足事項》 ※修学資金貸付に関する詳細は別冊リーフレット参照

- 次のような場合には、修学資金の貸付を停止します。
 - ◇ 大学を退学し、または退学させられたとき。
 - ◇ 修学生であることを辞退したとき。
 - ◇ 心身の故障のため、大学を卒業する見込みがなくなると認められるとき。
 - ◇ 学業成績や品行が著しく不良となったとき。
 - ◇ 虚偽その他不正な方法により、修学資金を受けたことが明らかになったとき。
 - ◇ その他修学資金の貸付の目的を達成する見込みがなくなると認められるとき。
- 修学資金返還免除のために必要な勤務期間9年間のうち、妊娠・出産・育児、その他、県がやむを得ないと認める事由により医療業務に従事できない期間は、この9年間には含まれません。
- 初期研修終了後、9年間の間に、専門医研修等を行いながら大学院教育を受けることも可能です。

< 修学資金貸付制度に関する問い合わせ先 >
 神奈川県保健福祉局保健医療部医療課地域医療・医師確保対策グループ
 電話 045-210-1111 (内線: 4874) URL <http://www.pref.kanagawa.jp/>
 045-210-4874 (直通)

(4) 配点・審査基準および合否判定基準

第1段階選抜 [入学志願者が本学の定める倍率を超えた場合のみ実施 (前記(1)参照)]

○次表の大学入試センター試験の配点の合計点を審査基準とします。

○合否判定は、合計得点の高い者から順に合格とします。

最終合否判定

○次表の大学入試センター試験の配点、個別学力検査(第2次試験)の配点の合計点および小論文と面接を数段階で評価し、審査基準とします。小論文の評価または面接の評価が一定の水準以下の場合には合格しない場合があります。

○合否判定は、合計得点の高い者から順に、第1志望枠から優先して合格とします。第1志望枠で合格とならなかった場合、第2志望枠まで志望した受験者は第2志望枠で合格の可能性があります。また第3志望枠まで志望した受験者は、第3志望枠で合格の可能性があります。どの募集枠で合格となったかについては、合格発表時に郵送する合格通知書に記載します。

試験区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	合計点
大学入試センター試験	200	100	200 [100×2科目]	200 [100×2科目]	300	—	—	1,000
個別学力検査(第2次試験)	—	—	400	400 [200×2科目]	400	*	*	1,200
合計	200	100	600	600	700	*	*	2,200

*小論文と面接は数段階で評価します。

(注) 大学入試センター試験配点換算方法

外国語(英語): [筆記(200点満点) + リスニング(50点満点)] × 1.2倍 = 300点

(5) 個別学力検査(第2次試験)の試験日・集合時刻・教科・試験時間・試験場・携行品等

● 試験日・集合時刻・教科・試験時間

試験日	集合時刻	教科	試験時間
平成29年 2月25日(土)	※ 9:00	理科	9:30~12:30 (180分)
		数学	14:00~16:00 (120分)
		外国語	17:00~18:30 (90分)
平成29年 2月26日(日)	※ 8:30	小論文	9:00~10:00 (60分)
		面接	12:00~18:00 (注)

※1日目と2日目の集合時刻が異なりますので注意してください。

(注) 小論文試験後に発表する時間割により、順次実施します。

医学部医学科 2 次試験 面接についての注意事項

平成 29 年 2 月 26 日

【事前の準備と面接待機室への移動】

- 『受験に関するアンケート』に必要事項を記入してから休憩に入ってください。
記入が済んだアンケートは机上に裏返して置いておいてください。後ほど係員が回収します。
- 面接待機室は、「小論文」の試験室とは別の会場になります。11 時 45 分になりましたら係員が案内しますので、それまでに昼食等を済ませて現在の試験室に着席して下さい。
（試験室から面接待機室には係員の案内により移動します）
- 机上の受験番号シールをはがして、配布された受験番号札に貼り、左胸の見えやすい位置に着用して下さい。
- 面接控室での着席位置は、面接グループの順番によりエリア分けがされています。
《面接待機室 座席配置》を確認の上、係員の指示に従い着席してください。
※座席数に余裕がありませんので、詰めて座って下さい。なお、面接が始まり空席が出来ましたら、適宜移動してかまいません。

【面接について】

- 本日の面接試験は、受験生 1 人 10 分程度の個人面接により行います。12 時 30 分頃より、「面接時間割」に記した面接室・順番にて実施します。なお場合によっては、より公平・正確な評価を行うために、評価者を変えて「再面接」を行います。
- 面接開始予定時刻の 5 分程度前になりましたら、係員が面接室に誘導します。その際は全ての荷物を持って移動してください。
- 各面接室の前に来ましたら、係員の指示に従って面接室前の待機椅子に着席して待機して下さい。面接室内の評価者より呼ばれましたら、全ての荷物を持って面接室内にお入りください。
- 面接が終了しましたら、荷物を持って室外に出て面接室の前でしばらく待ってください。1 分程度で評価者より、「再面接」の要／不要が記された書面を渡しますので、その書面を持って 1 階の廊下に待機している係員の所に進んでください。
- 「再面接」が不要とされた方は、渡された書面と受験番号名札を係員に返却して、指定された退出口からお帰りください。控室に戻ることは出来ません。
- 「再面接」が必要とされた方は、係員が別室に案内して、順次再面接を行います。なお、「再面接」は、評価者を変えて実施しますので、若干長く時間がかかる場合もあることをご承知おきください。

【面接待機室内で待機中の注意事項】

- 面接待機室に移動してからの待機中および面接が終了するまでは、携帯電話や携帯音楽プレーヤー等の通信機器・電子機器類の使用を禁止します。それらの電源は切って、鞆の中にしまっておいてください。
- 面接待機室では、周りの方の迷惑にならない範囲で、飲食してもかまいません。
- 待機中にトイレに行きたい場合は、必ず控室の係員に申し出の上、所定のトイレ（案内図参照）を利用してください。

平成29年度 医学部医学科 面接時間割

		面接室										
		1階					2階					
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
面接開始予定時刻	12:30	55001	55002	55003	55004	55005	55006	55007	55008	55009	55010	55011
	12:40	55012	55013	55014	55015	55016	55017	55018	55019	55020	55021	55022
	12:50	55023	55024	55025	55026	55027	55028	55029	55030	55031	55032	55033
	13:00	55034	55035	55036	55037	55038	55039	55040	55041	55042	55043	55044
	13:20	55045	55046	55047	55048	55049	55050	55051	55052	55053	55054	55055
	13:30	55056	55057	55058	55059	55060	55061	55062	55063	55064	55065	55066
	13:40	55067	55068	55069	55070	55071	55072	55073	55074	55075	55076	55077
	13:50	55078	55079	55080	55081	55082	55083	55084	55085	55086	55087	55088
	14:10	55089	55090	55091	55092	55093	55094	55095	55096	55097	55098	55099
	14:20	55100	55101	55102	55103	55104	55105	55106	55107	55108	55109	55110
	14:30	55111	55112	55113	55114	55115	55116	55117	55118	55119	55120	55121
	14:40	55122	55123	55124	55125	55126	55127	55128	55129	55130	55131	55132
	15:00	55133	55134	55135	55136	55137	55138	55139	55140	55141	55142	55143
	15:10	55144	55145	55146	55147	55148	55149	55150	55151	55152	55153	55154
	15:20	55155	55156	55157	55158	55159	55160	55161	55162	55163	55164	55165
	15:30	55166	55167	55168	55169	55170	55171	55172	55173	55174	55175	55176
	15:50	55177	55178	55179	55180	55181	55182	55183	55184	55185	55186	55187
	16:00	55188	55189	55190	55191	55192	55193	55194	55195	55196	55197	55198
	16:10	55199	55200	55201	55202	55203	55204	55205	55206	55207	55208	55209
	16:20	55210	55211	55212	55213	55214	55215	55216	55217	55218	55219	55220
	16:40	55221	55222	55223	55224	55225	55226	55227	55228	55229	55230	55231
	16:50	55232	55233	55234	55235	55236	55237	55238	55239	55240	55241	55242
	17:00	55243	55244	55245	55246	55247	55248	55249	55250	55251	55252	55253
	17:10	55254	55255									

※面接終了後、一旦廊下に待たせた受験生に渡すプリント

----- <谷折り線> ----- (↑この線で谷折りにして、結果が見えないようにして受験生に渡す)			
再面接	再面接を受けてください。 係員が誘導しますので、指示に従ってください。		
終了	面接はこれで終了です。 このプリントと名札を係員に返却して、お帰りください。		
↑何れかに○			
受験番号	55114	面接室	■
氏名	■ ■ ■	■ ■ ■	

指示欄に○を記入して谷折りにし、
↓の状態にして受験生に渡す。

----- <山折り線> -----			
この書類と荷物を持って、 廊下に待機している係員の所へ向かい、 そこで、折り返しの中に記載されている 指示を確認してください。			
受験番号	55114	面接室	■
氏名	■ ■ ■	■ ■ ■	

平成29年4月6日

資料4

《高等学校名》

進路指導部長 様（《高校CD》）

横浜市立大学
アドミッションズセンター

平成30年度 横浜市立大学 医学部医学科 特別推薦入試の対象校について

横浜市立大学医学部医学科では、横浜市立高等学校およびその他神奈川県内の合格実績のある高等学校・中等教育学校の現役生を対象とした「特別推薦入試」を平成28年度より導入しており、対象となる学校様には志願者の推薦をご依頼申し上げているところですが、先日行われました平成29年度一般選抜において貴校出身者が合格しましたことにより、平成30年度より貴校が新たに対象校に加わることになりましたので、謹んでお知らせいたします。

平成29年度特別推薦入試では21名（各校1名）の出願があり、第1次（書類）選考の結果16名を1次合格としました。第2次（面接）審査は対象者16名全員が受験して2次合格となり、その後センター試験の成績と合わせた第3次選考の結果5名が最終合格となり入学いたしました。なお、第1次選考の不合格者および第3次選考の不合格者計16名のうち多くの者が本学医学科一般選抜（前期日程）を併願しており、その中から4名の者が合格しています。

具体的な学生募集要項（願書）につきましては、追って9月下旬までに各学校宛お送りする予定ですが、今年度の選考日程・選抜方法の概要につきましては2～3頁をご参照ください。また、昨年度当日の受験案内も同封いたしましたので、関心のある生徒等へのご周知のほど、よろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】

045-787-2055

アドミッションズセンター

課長 照井 和尋

専門職 出光 直樹

□ 選考方法

備 考																													
第1次選考	出願者数が概ね15名を超えた場合のみ、出願書類(高等学校の成績、英語資格の水準、志願理由書の内容等)による、第1次選考を行います。																												
第2次選考	面接審査により第3次選考に進む者を決定します。＜配点1,000点＞ *MMI(Multiple Mini Interview)の手法を取り入れ、多面的に資質を評価します。																												
第3次選考	第2次選考の合格者の中から、面接審査の成績(配点1,000点)および下記に定める大学入試センター試験の成績(配点1,000点)の合計点により最終合格者を決定します。ただし、大学入試センター試験の成績が一般選抜前期日程第1段階選抜合格者の平均点よりも低い者は、合計点の順位にかかわらず不合格とします。																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科目</th> <th>教科科目数</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>『国語』(古文・漢文含む)(必須)</td> <td>1</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>地歴公民</td> <td>「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」『倫理, 政治・経済』から1科目</td> <td>1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>『数学Ⅰ・数学A』と『数学Ⅱ・数学B』の2科目(必須)</td> <td>2</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>「物理」「化学」「生物」から2科目</td> <td>2</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>『英語』(リスニングを含む)(必須)</td> <td>1</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">合 計</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table>	教科	科目	教科科目数	配点	国語	『国語』(古文・漢文含む)(必須)	1	200	地歴公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」『倫理, 政治・経済』から1科目	1	100	数学	『数学Ⅰ・数学A』と『数学Ⅱ・数学B』の2科目(必須)	2	200	理科	「物理」「化学」「生物」から2科目	2	200	外国語	『英語』(リスニングを含む)(必須)	1	300	合 計			1,000
	教科	科目	教科科目数	配点																									
	国語	『国語』(古文・漢文含む)(必須)	1	200																									
	地歴公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」『倫理, 政治・経済』から1科目	1	100																									
	数学	『数学Ⅰ・数学A』と『数学Ⅱ・数学B』の2科目(必須)	2	200																									
	理科	「物理」「化学」「生物」から2科目	2	200																									
外国語	『英語』(リスニングを含む)(必須)	1	300																										
合 計			1,000																										
(注) ◆『英語』でリスニングテストを受けなかった場合、または受験すべき教科・科目を受験していない場合は、出願資格がありませんので注意してください。 ◆地歴・公民で2科目受験した場合は第1解答科目の成績を採用します。 ※大学入試センター試験配点換算方法 外国語(英語)：[筆記(200点満点)+リスニング(50点満点)]×1.2倍=300点																													

*MMI(Multiple Mini Interview)

1回の面接ではなく、受験者が評価項目別の面接室を巡り、各々独立した短めの面接を複数回行って多面的に評価する面接手法。この推薦入試では、各受験者に対して5つ程度の面接室を設けます。

平成 29 (2017) 年度 横浜市立大学 医学部医学科 特別推薦入試 第 2 次選考 受験案内

1. 試験日 平成 28 (2016) 年 12 月 10 日 (土)

2. 試験会場 横浜市立大学 金沢八景キャンパス

昨年度参考

3. 集合場所 (面接控室)・集合時刻

面接控室	受験番号	集合時刻
本校舎 1階 108教室	80001～80005	13:00
	80006～80010	14:00
	80011～80016	15:00

- * 受験番号により集合時刻が分かれていますので、間違えないよう注意してください。
- * 面接控室には、指定された集合時刻の 20 分前から入室可能です。それより前に到着した場合は、保護者控室でお待ちください。
- * 集合時刻に遅刻しそうな場合は、速やかにアドミッションズセンター 045-787-2055 に電話連絡すること。

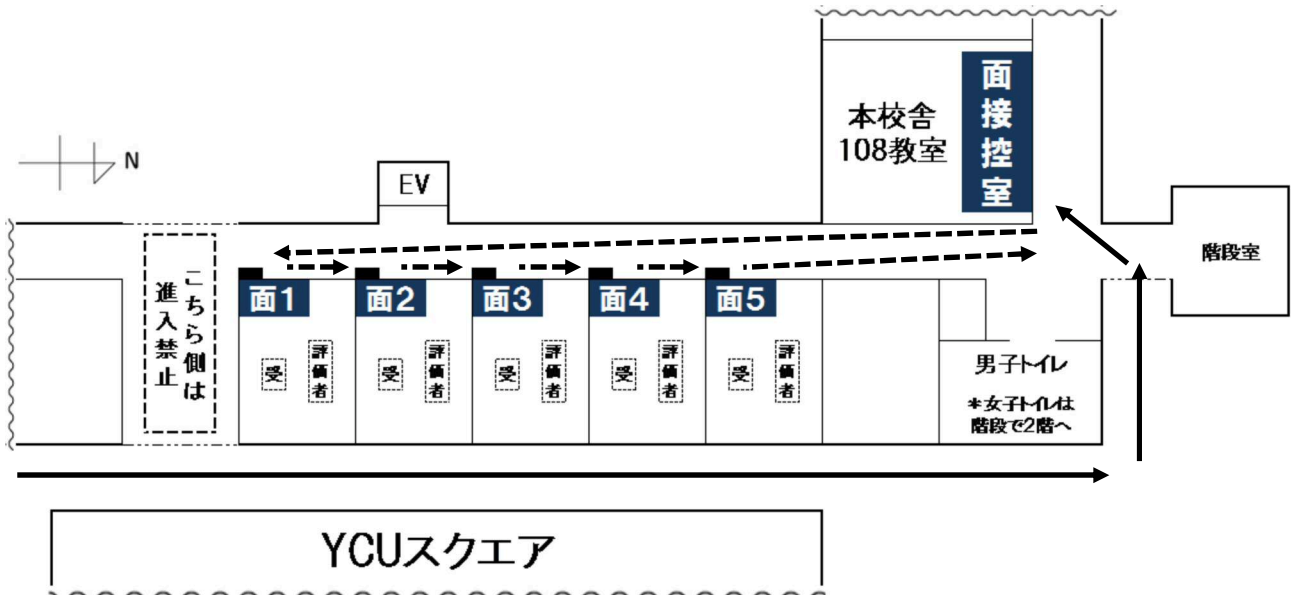
4. 持参物 受験票、この受験案内

5. 面接の実施方法について

面接審査は、MMI (Multiple Mini Interview) の手法により行います。受験者は以下の観点別の 5 つの面接室を巡り、それぞれ独立して審査を受けます。

評価の観点	内容等
(1) 志望理由	「志望理由書 1」の内容も合わせ、医療の直面する課題への問題関心や意欲など、医学を志す志望理由を評価します。
(2) 社会性	「志望理由書 2」の内容も合わせ、今までの活動経験から培ってきた社会性について評価します。
(3) 協調性	提示された状況課題 (シナリオ) に対する解答により、協調性を評価します。
(4) 独創性	提示された状況課題 (シナリオ) に対する解答により、独創性を評価します。
(5) 倫理性	提示された状況課題 (シナリオ) に対する解答により、倫理性を評価します。

【面接室の配置】



- ・ 控室集合後、係員による出欠の確認と注意事項等の説明を受け、次ページの時間割に従って順次、第1面接室から第5面接室へと巡って面接を受けます。
- ・ 面接室には、この「受験案内」のみ持参することが出来ます。受験票や資料、筆記用具などはカバンの中にしまい、その他の荷物・コートなどとともに控室に置いたまま面接を受けてください。面接中はメモを取ることは出来ません。
- ・ 開始時刻の3分程度前になりましたら、係員が第1面接室の入口まで誘導します。
- ・ 各面接室の入口には机の上にデジタル時計が置いてあり、時間割も掲出してありますので、開始時刻になりましたらドアをノックして中に入り、面接を受けてください。
- ・ 各面接室の中には、受験者用の椅子とテーブル（デジタル時計含む）が用意されています。
- ・ 第3～第5面接室のテーブルには、プリントされたシナリオ（状況課題）も用意されていますので、指示に従って所定時間（1～2分程度）で内容を読み解答してください。
- ・ 1つの面接が終わりましたら、速やかに次の面接室の入口に移動し、次の面接（開始時刻）に備えてください。5番目の面接が終わりましたら控室に戻って係員の確認を受け、全ての荷物を持って帰宅してください。

【シナリオのイメージ】あくまでも例示であり、今回の特定の観点を意図したものではありません

あなたは運動部（チームスポーツ）のキャプテン（3年生）です。入学時から一緒に活動してきた仲良しの同級生メンバーがいますが、友人は成績が振るわないことから次の試合ではレギュラーから外し、成績の良い1年生を抜擢する事になりました。あなたはどのようにそれを伝えますか。

知的な障害は持っているものの、デジタル時計は読んで理解することの出来る人に、図のようなアナログ時計の読み方を、わかりやすく説明してください。



6～8人のグループで、メンバーが協同して一つの学習課題に取り組む場合、目標を達成するためにどのようなことが重要だと思うか、あなたの考えを述べてください。

【注意事項】

- ・ 最初の面接開始～最後の面接終了までは、トイレに行く時間を想定していません。やむをえない場合は、廊下に待機している係員に申し出てください。ただし面接時間の変更・延長はありません。
- ・ シナリオ等の面接内容は、試験当日の17時10分までは決して他人に話してはいけません。

面接時間割

開始～終了	面接室 1	面接室 2	面接室 3	面接室 4	面接室 5	開始～終了
13:30～13:38	80001					13:30～13:38
13:40～13:48	80002	80001				13:40～13:48
13:50～13:58	80003	80002	80001			13:50～13:58
14:00～14:08	80004	80003	80002	80001		14:00～14:08
14:10～14:18	80005	80004	80003	80002	80001	14:10～14:18
14:20～14:28		80005	80004	80003	80002	14:20～14:28
14:30～14:38	80006		80005	80004	80003	14:30～14:38
14:40～14:48	80007	80006		80005	80004	14:40～14:48
14:50～14:58	80008	80007	80006		80005	14:50～14:58
15:00～15:08	80009	80008	80007	80006		15:00～15:08
15:10～15:18	80010	80009	80008	80007	80006	15:10～15:18
15:20～15:28		80010	80009	80008	80007	15:20～15:28
15:30～15:38	80011		80010	80009	80008	15:30～15:38
15:40～15:48	80012	80011		80010	80009	15:40～15:48
15:50～15:58	80013	80012	80011		80010	15:50～15:58
16:00～16:08	80014	80013	80012	80011		16:00～16:08
16:10～16:18	80015	80014	80013	80012	80011	16:10～16:18
16:20～16:28	80016	80015	80014	80013	80012	16:20～16:28
16:30～16:38		80016	80015	80014	80013	16:30～16:38
16:40～16:48			80016	80015	80014	16:40～16:48
16:50～16:58				80016	80015	16:50～16:58
17:00～17:08					80016	17:00～17:08

6. 合否発表について

第2次選考の合否は、平成28年12月16日（金）、本人宛に合否通知書を発送します。ホームページ等での掲示はいたしません。12月19日（月）になっても届かない場合は、お問い合わせください。

なお、第2次選考で不合格となった場合は、学校長宛にも通知いたします。